

令和6年度柴田町議会懇談会

報 告 書

令和7年3月
柴田町議会

1 一般懇談会

令和6年度 柴田町議会一般懇談会開催報告書

令和6年度議会懇談会実行委員会

委員長 吉田 清

副委員長 秋本好則

委員 高橋 たい子

加藤 滋

平間 幸弘

広沢 真

◎懇談会実施概要

○目的

懇談を通して、地域防災の一翼を担う消防団における課題を解決するための気づきの一助とすることを期待するとともに、議会、さらには議員として今後の活動の糧とすることを目的とする。

○開催日時 令和6年11月12日（火） 午後7時00分～

○会場 柴田町保健センター4階 多目的ホール

○参集範囲 柴田町消防団員、柴田町議会議員

○懇談テーマ 「10年後も消防団を維持していくためには、何をすればよいか？」

・ROUND1 「消防団の活動で困った（気になった）ことは？」

・ROUND2 「解決するにはどうすればいい？」

○懇談方法 5名程度の少人数グループによる、ワールドカフェ形式での懇談

○参加者数 〈柴田町消防団〉 18名

〈柴田町議会〉 18名

◎総 括

○現状として困った事項では次の点が挙げられた。

- ・ポンプ操作時の人員の数
- ・訓練や演習に参加する団員の固定化
- ・団員の高齢化
- ・訓練やパトロール等の回数の問題

これらは主に団員不足に起因するものであり、解消方法として広報活動（広報活動の多様化や体験会などを通しての認知度の向上）の充実が主なものであった。

また、委員会としての話し合いでは、消防団活動が班毎の活動になっているため消防団全体を統括する組織の活動が見えないことや他の地域コミュニティ組織との連携強化なども必要ではないかとの意見も出された。

委員会としての分析や提案を出すことは実行委員の考え方や見方によって偏った切り口になることを避けるため、あえて未整理のデータを議員各自に提供することにした。

特効薬的な解決策を導くことはできなかったが、地域の運営に欠くことのできない組織の現状を知ることができたことは大きな収穫になったと考える。同様なことは地域コミュニティ組織共通の課題ともなっており、委員会での総括がこれからの議会活動や委員会活動、そして地域活動に資するものになることを期待する。

○グループ別の懇談内容

1グループ

消防団の活動で困った（気になった）ことは？	それを解決するにはどうすればいい？
<ul style="list-style-type: none"> • 訓練なくして本番なし！ ただ、出てくる人（団員）が少ない • 演習、訓練、本番が確実にできるように班編成・分団編成を変えることが必要か？ • ポンプ操法の時人が足りない！ • 町民や行政区が、消防団の活動がわからないのではないか（無関心） • 出初め式の時のサイレンが鳴らない。関心を高めるためにも鳴らすようにしたほうがいい • 消防団の活動に住民の理解が得られない（サイレンがうるさいなど） • 出初め式は、船岡・槻木での交互開催を町民に見せる場も必要ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> • 若者、大学生に声をかける！ • 出来るときに参加、ゆるくする • 定年を75歳に • 消防団の福利厚生がうすい（クリーニング代が高い） • 団員割引のあるお店を増やす • 大学生の入団は、まずアルバイトの感じでよいのでは • 槻木町内をパレード（八幡神社 → 槻木小学校） ⇒住民に消防団を認知してもらう • お祭り、大学祭などで、消防団のブースをつくって周知をすればよいのでは

1グループ ROUND1 平間（幸）議員、小田部議員、石森議員

2グループ ROUND2 平間（幸）議員、桜場議員

2グループ

消防団の活動で困った（気になった）ことは？	それを解決するにはどうすればいい？
<ul style="list-style-type: none"> • 人が集まらない、団員数の問題 • 訓練で、9人中4人しか集まらなかった • 小型ポンプ運用の最低人数が集まらないことも • いろいろな取り組み（訓練・演習）に出て行くのが同じ人になっている • 消防団の中身がわからない • 大人の集団に入るのが怖い • 誘っても乗ってこない • 班長になる時期になるとリタイヤ 	<ul style="list-style-type: none"> • デモンストレーションを多く見てもらう機会を作る • 小中学校、高校への出前講座（デモ授業を見てもらう） • 消防団の内容を見てもらう • 道具を使ってもらう（体験） • 地域の組織と交流を作る • 町内会（区会）と連携⇄リクルート • 枠組みや運用の見直し

2グループ ROUND1 秋本議員、広沢議員

ROUND2 秋本議員、高橋議員

3グループ

消防団の活動で困った（気になった）ことは？	それを解決するにはどうすればいい？
<ul style="list-style-type: none"> • 高齢になり作業が大変に思う • 白石市では駅に「消防団員募集」のポスター（掲示板） • 火災の時に町内に居ない！ 仕事の関係（メールでの連絡有り） • 日中町内に居る団員が少ない • 誰が消防団員かわからない。お知らせの場をつくる • 小中学生にも「消防団」の活動がわかるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> • 若い世代を入れる • 訓練の事前告知をするべき • 幼稚園児などに訓練を見せたり、消防車に乗れる機会をつくる • 消防団のPRビデオ作製（パロディー風など） • 女性団員を増員すれば若い男性が入る？ • 消防車のライトアップイベントの開催（PR活動） • 子育て支援センター、飲食店へのポスターの掲示 • 子供用の活動着を着て歩く • 学校の避難訓練時に消防車の出動 • 防災の日を決めて活動着を着て過ごす。消防車も出動 • 町外の活動を参考にする。見学に行く

3グループ ROUND1 白内議員、佐久間議員

ROUND2 白内議員、伊東議員、森議員

5グループ

消防団の活動で困った（気になった）ことは？	それを解決するにはどうすればいい？
<ul style="list-style-type: none"> • 訓練の参加人数が少ない • 退職年齢が70歳で早い 75歳にすべきである • 班の統合を視野に入れて見直しをする • 4人で行う訓練などに人数が足りず実施できない • 団員不足 • 班の維持が難しい • 若い世代の団員が少ない。いない • 地域に若い人がそもそも少ない • 1年も活動に参加していない団員に年間報酬を支払っているが、見直しをして有効な使い方を考えるべき • 防火水槽の修繕などをお願いしたが。予算がないと修繕（清掃など）されていない • 消防団として救命措置もできるようになるといい 	<ul style="list-style-type: none"> • SNSの活用で団員を募集 • 入団で住民税を免除 • 活動服を着て地区行事に参加して、若い人を誘う • コスプレをして消防団をPRする • 役場でチェックして一定期間出動できない人はおやめいただく • 給水用の水道を付ける

5グループ ROUND1 平間（奈）議員、桜場議員

ROUND2 平間（奈）議員、石森議員

6 (4) グループ

消防団の活動で困った（気になった）ことは？	それを解決するにはどうすればいい？
<ul style="list-style-type: none"> • 訓練の開始時間が早いのが気になる • 訓練していることを町民に知って欲しい（特に子ども達） • 団員募集の仕方はどうなっているのか • 仙南広域で練習（もっと訓練が必要では） • 女性消防団員の位置付けがはっきりしない • 消防班の巡回時、担当区域を越えられないのか？ • 人員不足（最低でも4人必要） • 練習時への参加ほか、基本のコミュニケーションが取れていない • 勤め先が町外の人が多い。発災の時の出動が難しい • 女性専用のホースなど他町にはある。本町でも準備できないか 	<ul style="list-style-type: none"> • 訓練不足、女性用のホースなどのいろいろな意見が出た ▪ 本日の意見など、幹部会で共有してほしい • 人員不足で出動できないときもある（分団で4人） ▪ 班編成の統廃合など、活動単位の整理 • 人員不足、少しでも関心を持たせるためにも ▪ 消防団員の出動機会を見せる回数を増やす

4グループ ROUND1 吉田（和）議員、佐々木議員

6グループ ROUND1 大坂議員、高橋議員

ROUND2 吉田（和）議員、大坂議員、広沢議員

※参加者数が想定にわずかに届かず、席替え抽選の結果4グループと6グループの人数が少なくなったため、ROUND2は合同グループとした

7グループ

消防団の活動で困った（気になった）ことは？	それを解決するにはどうすればいい？
<ul style="list-style-type: none"> • 仙台大学生が団に入るのは良いことだが4年で退団する • 一般人（町住民）は知らない。誰が団員か知らない • ポンプ点検は週一のローテーションで大丈夫なのか。ホコリを被っている <p>【団員が少ないことによって】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団員同士の貸し借り • 残火警戒時、人員不足により対応メンバーが固定（社会構造変化により、会社員多く対応メンバー限られる）翌日の仕事等に影響がある • 残火警戒にあたる団員が決まった人ばかりである！ • パトロールの在り方、回数に制約がきびしい（月1～2回、2週に1回） • 自営業が少なくなったから入る人がいなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> • 町内会の集まりで紹介する。役員名簿に入れる（個人情報は？） • 掲示板などに募集ポスター連絡先などを明示 • 柴田町独自のポスターを作って貼る

7グループ ROUND1 安藤議員、伊東議員

ROUND2 安藤議員、佐久間議員、小田部議員

8グループ

消防団の活動で困った（気になった）ことは？	それを解決するにはどうすればいい？
<ul style="list-style-type: none"> • 団員不足で活動がうまく回らない • 仕事のシフトなどでなかなか出られない • オートマチックのポンプ車が足りない • 巡回が少ないのでバッテリーなど大丈夫か？ • 防火水槽が壊れているので町に連絡してもすぐに直してくれない • 在職年数だけで、退職金を決めるのはおかしい 	<ul style="list-style-type: none"> • 一家に一人消防団に入る（千葉県、遠野市） • 区長にも声がけをいただいています。努力はしているが集まらない • 広報しばたなどで消防団を大きく取り上げてPRしたら • お祭りなどでブースを出してアピールする • 退職金は出動の回数に応じて支払ってもいいのでは • 年輩者の経験を生かしてサポートに回り、活動をお願いしたい

8グループ ROUND1 吉田（清）議員、森議員

ROUND2 吉田（清）議員、佐々木議員



懇談風景(全体)



グループ懇談風景①



グループ懇談風景②



グループ懇談風景③



懇談内容の全体共有①



懇談内容の全体共有②

2 柴田高校生との懇談会

柴田高校生徒との懇談会実施報告書

開催日時	令和6年7月12日(金) 10:40~12:20 (3・4校時)	開催場所	宮城県柴田高等学校会議室
懇談団体	柴田高等学校公民履修生徒	参加者数	生徒39名
参加議員	11名 吉田 清 議員、平間 幸弘 議員、石森 靖明 議員 伊東 潤 議員、小田部 峰之 議員、森 裕樹 議員 安藤 義憲 議員、佐久間 光洋 議員、吉田 和夫 議員 大坂 三男 議員、佐々木 裕子 議員		
実施内容	懇談テーマ 「10年後も住み続けたいまち」 1 あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？ 2 それを実現するためには何をしたらいい？		
主な内容	記録用紙のとおり		

令和6年度 柴田高等学校生との懇談会開催要項

1. 目的 現役の高校生に地域や議会、政治に関心を持ってもらうとともに、高校生ならではの視点から今後の議会活動に反映させるべき、議会や町政に対する様々な意見を把握することを目的とする。
2. 主催 柴田町議会
3. 開催日時 令和6年7月12日(金) 10時40分～12時20分(3・4校時)
4. 会場 宮城県柴田高等学校会議室
5. 参集範囲 町議会議員 11名、柴田高等学校公民履修生徒 41名
6. 懇談テーマ 「10年後も住み続けたいまち」
 - ・あなたにとっての「10年後も住み続けたいまち」を提案してもらう
 - ・実現するためには何をしたら良いか考える
7. 懇談方法 参加者を4～5名の10グループに分け、ワールドカフェ形式による対話。
8. 参加議員 参加議員名簿のとおり
9. タイムスケジュール(概算)
ファシリテーター:平間 幸弘 議員
- 10:40 開会～実行委員長あいさつ(3min)～ファシリテーターからの説明(5min)
- 10:48 アイスブレイク(自己紹介を含む)(10min)
- 10:58 ROUND1「10年後も住み続けたいまちは?」(15min)
- 11:13 席替え～休憩(15min)
- 11:28 ROUND1での共有(5min)
- 11:33 ROUND2(移動先での提案に対して)「そのためには何をしたらいい?」(15min)
- 11:48 グループ発表(30min=3min×10グループ)
- 12:18 閉会

○参加議員名簿(11名)

No.	氏名	備考
1	吉田 清	実行委員長
2	平間 幸弘	実行委員・当日ファシリテーター
3	石森 靖明	
4	伊東 潤	
5	小田部 峰之	
6	森 裕樹	
7	安藤 義憲	
8	佐久間 光洋	
9	吉田 和夫	
10	大坂 三男	
11	佐々木 裕子	

要点記録用紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

1 グループ 議員名: 石森 靖明

◎10年後も住み続けたいまち

■ROUND1

あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？

- ・子育てがしやすいまち
- ・だれでも自由に使えるスポーツ施設があるまち
- ・交通が便利なまち(電車の本数が多い、駅が多い、学校までの送迎バスがある)
- ・遊ぶ店や飲食店があるまち
- ・犯罪がないまち
- ・ゴミがないまち

■ROUND2

それを実現するためには何をしたらいい？

- ・子育てがしやすいまち
 - 医療費を18歳まで無料にする
 - 子供を預かってくれる場所を作る
 - 遊べる場所を作る
- ・だれでも自由に使えるスポーツ施設があるまち
 - スポーツをしている姿をアピールする
 - 大きな大会を誘致する
- ・犯罪がないまち
 - 街灯を多く設置する
 - 安全な町であることのPRビデオを作って公開する
- ・ゴミがないまち
 - ゴミ拾いをする

※ 7/19(金)まで、電子メールにより事務局に提出してください。
メールアドレス:g_jimukyoku@shibatamachigikai.jp

要点記録用紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

2グループ 議員名：伊東 潤

◎10年後も住み続けたいまち

■ROUND1

あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？

気温が低い
どこにでもトイレある所
交通に便利
公園がいっぱい
飲食店がたくさんある
エステがある
虫がない
音楽イベントが多いまち
スポーツが盛ん
友だちと話せる所
スタバがある
道路が全部きれい

■ROUND2

それを実現するためには何をしたらいい？

公園にトイレをつくる

イオンモールをつくる

電車、交通の量を増やして遠方から人をよぶ

自然ある町

町のCMをつくる

道の駅をつくる

※ 7/19(金)まで、電子メールにより事務局に提出してください。
メールアドレス:g_jimukyoku@shibatamachigikai.jp

要点記録用紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

3グループ 議員名： 吉田清

◎10年後も住み続けたいまち

■ROUND1

あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？

- ①
 - 都会。
 - スタバ・マック・サイゼリヤが、揃っている。
 - お店がたくさんある。
 - たくさんの人が、集まれる場所があるまち。
 - 施設が新しいまち。
 - 電車がたくさん、通っているまち。
 - 子どもがいっぱいいるまち。

- ②
 - スポーツができるまち。

- ③
 - 自然豊かなまち。
 - 公園があるまち。

- ④
 - 戦争のないまち。

- ⑤
 - いつも高校生と話しができるまち。

- ⑥
 - 生活に困らないまち。

■ROUND2

それを実現するためには何をしたらいい？

- ① 大きな会社を誘致する。
- ② 施設がいっぱいあればいいかな。
- ③ 自然をこわさない。
森をまもる。
- ④ 平和を叫ぶ。
- ⑤ 一生懸命働く。

以上

※ 7/19(金)まで、電子メールにより事務局に提出してください。
メールアドレス:g_jimukyoku@shibatamachigikai.jp

要 点 記 録 用 紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

4 グループ 議員名: 小田部 峰之

◎10年後も住み続けたいまち

■ROUND1

あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？

生徒の住んでるところ:

仙台市 1名

白石市 2名

柴田町 1名

- ・医療費 高校生まで無償化のまち
(地域によってバラツキがある)
- ・イベントが盛んな 活気あるまち
(白石は閉店しているお店が多い。活気が感じられない。)
- ・交通の便が良いまち
- ・駅からバスが出るまち
(今現在は船岡駅と東船岡駅から自転車で通っている。)
- ・遊ぶ場所が多いまち
- ・観光スポットがあるまち

■ROUND2

それを実現するためには何をしたらいい？

生徒の住んでるところ：

仙台市 1 名

大和町 1 名(野球部寮生活)

川崎町 1 名(野球部寮生活)

亘理町 1 名(野球部通い)

・医療費 高校生まで無償化のまち
➡ケガをしないように気を付ける

・イベントが盛んな 活気あるまち

➡SNS で宣伝する

➡子どもが増えれば活気が出る

(議員が出来ること)

地元の祭りや伝統芸能のお手伝い。

若い人が参加し集まりやすいように古いしきたりにこだわらないよう工夫。

出来れば町からも協力を得られるようにする。

・交通の便が良いまち

➡亘理から鉄道などで一本で来れるようになればいい

・駅からバスが出るまち

➡ …思いつかない

・遊ぶ場所が多いまち

➡自分でつくる

➡遊び方を工夫してあるものを効率よく使って楽しむ

・観光スポットがあるまち

➡自分でみつける

➡自分でつくる

➡樹を植える

※ 7/19(金)まで、電子メールにより事務局に提出してください。
メールアドレス:g_jimukyoku@shibatamachigikai.jp

要点記録用紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

グループ5 議員名： 森裕樹

◎10年後も住み続けたいまち

■ROUND1

あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？

- ・子育てしやすい町
- ・子供が遊べる施設が近くにある
- ・子供も大人も楽しめる場所がある町
- ・体を癒す施設が近くにある
- ・体を動かす施設
- ・公民館でのイベントが充実
- ・大きなお祭りがある
- ・自然豊かな町
- ・バリアフリーがちゃんとある
- ・街灯が沢山ある町
- ・事故がない町
- ・支援物資がある町
- ・ゴミなどが無くきれいな町
- ・きれいな町

■ROUND2

それを実現するためには何をしたらいい？

- ・イベントができる大きいところを作る
 - ・体育館、公園を増やす
 - ・作るための費用をくれと国にたのむ
 - ・行政や企業に提案する機会を作る
 - ・森や木を伐採しない
 - ・景観がさみしいところに花を植えたりする
 - ・植物への関心を高める
 - ・空いてる場所とかに木などの植物をうえる
 - ・交通ルールをしっかりまもる
 - ・定期的に町民に不便なことがないかの調査をおこなう
 - ・手助けをしていく・二人で帰る
 - ・働き口がない人に作る仕事を提供する
 - ・水や食料の生産性を高める
- ある程度必要な量をストックしておく
- ・誰かに分けられるぐらい多くの食料とかを準備する
 - ・支援物資がたりなくなったときに周りを助けられるように自分でも準備する
 - ・各地域ごとに定期的にゴミ拾いをする
 - ・食べ残しをしない
 - ・ゴミ拾いをする
 - ・ポイ捨て防止のポスターをはる

※ 7/19(金)まで、電子メールにより事務局に提出してください。
メールアドレス:g_jimukyoku@shibatamachigikai.jp

要 点 記 録 用 紙
(グループ内で出された意見をわかりやすく)

グループ 議員名：安藤義憲

◎10年後も住み続けたいまち

■ROUND1

あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？

幼児から高齢者まで深い交流がある町。

公園でボールを使ってもいいような公園が増える町。

綺麗な町。

誰もが楽しく生活できて安全な町。

不便じゃない町。

生活しやすい町(飲食店、コンビニ、商業施設などがある)

他国の方が来やすい町。

都会すぎない、田舎すぎない町。

子どもが楽しく過ごせるような町。

防災の備えをしている町。

災害などが少ない町。

交通手段が多い町。

お金の面などで支援してくれて生活しやすい、したいと思える町。

■ROUND2

それを実現するためには何をしたらいい？

今の地域には何が足りていないのか考え全体の意見と照らし合わせる。

できるだけ多くの意見を取り入れる。

地域の意見を取り入れること。

イベント事をし、そこで募金活動をする。

ゴミ拾い。

今の地域の現状を理解した上で話し合いをして決める。

アンケート実施。

ボランティア活動。

近所の人とのコミュニケーションをとる。

※ 7/19(金)まで、電子メールにより事務局に提出してください。
メールアドレス:g_jimukyoku@shibatamachigikai.jp

要点記録用紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

7グループ 議員名：佐久間光洋

◎10年後も住み続けたいまち

■ROUND1

あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？

- (1) 大人と子供が交流できる場
- (2) 公園が狭い(野球のようなスポーツができない)、(3) 遊べる場所が欲しい
Ex.ショッピングモール、ゲームセンターなど
- (4) 移動のための交通機関の充実、のどかで静かな所になってほしい
Ex.地下鉄、バス

以上の3項目に集約した。

■ROUND2

それを実現するためには何をしたらいい？

(1) 大人と子供が交流できる場の解決策

交流のイベントを計画する、
議員との話し合い(グループワーク)、
芸能人が来る
中高生の文化部の発表展示の場を作る、
町の行事に積極的に関わる

(2) 公園が狭い(野球のようなスポーツができない)、(3) 遊べる場所が欲しいの解決策

中高生が主体となって企業とコンタクトを取る
どのような施設が欲しいかアイデアを出す

などの案が出されました。

※ 7/19(金)まで、電子メールにより事務局に提出してください。
メールアドレス: g_jimukyoku@shibatamachigikai.jp

要点記録用紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

グループ議員名： 8班 吉田 和夫

◎10年後も住み続けたいまち

■ROUND1

あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？

- 静かで落ち着く、今のような柴田町。
- 子どもであふれる柴田町。
- 遊泳できる川にしてほしい。
- ちょっと大きめの公園があって欲しい。
- 子育てなど支援がしっかりしている町。
- 海がきれいな町がいい。(山元町から来ている学生から)
- ショッピングモールとか遊ぶところがある町。
- バasketコートが欲しい。
- 柴田高校をきれいにしてほしい。
- 桜がきれいな町でいてほしい。
- 防災施設がしっかりしていて安全な町。
- 祭りとかイベントが増えて欲しい。

■ROUND2

それを実現するためには何をしたらいい？

- 海・桜がきれいな町 ⇒ゴミを拾う・ゴミはゴミ箱に ⇒桜がきれいな町、柴田の桜をさらに有名にして、きれいな桜を保持しないといけない。そのための雰囲気をつくる。
- 祭りとかイベントを多く ⇒住民を話し合いに参加させる。 ⇒有名人を呼ぶなど。
- 隣近所仲良く ⇒たくさん話す。 ⇒月に1回住民が集いイベントを開催する。 ⇒地区の行事を増やす。
- 防災施設の充実 ⇒防災の先進地を参考にする。 ⇒避難訓練を町内会ごとに実施する。
- 若者の遊ぶ場所については議論なし。

※ 7/19(金)まで、電子メールにより事務局に提出してください。
メールアドレス:g_jimukyoku@shibatamachigikai.jp

要 点 記 録 用 紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

第9グループ 議員名：大坂三男

◎10年後も住み続けたいまち

■ROUND1

あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？

- ・ ある程度の人口規模があるまち
(人口が、かなり少ないまちから登校している生徒の意見で、これ以上減らないようにとの切実な思い)
- ・ 賑やかで人の交流が多いまち
- ・ スーパーやコンビニが多く、買い物が便利なまち
- ・ 若い人が多いまち
- ・ 子どもが多いまち
- ・ 治安が良いまち
- ・ 自然が豊かなまち
- ・ ドッグランがあるまち
- ・ 祭りなどの伝統が受け継がれてるまち

■ROUND2

それを実現するためには何をしたらいい？

- ・ 学費援助を多くする
- ・ 駅から柴田高校までの通学用バスを運行する
- ・ 子どもたちや、ペットが遊んだり、楽しんだりできる施設を増やす
- ・ 川で遊べるようにする
- ・ 最低、無くしたくない伝統だけは残す
- ・ 地域で盛んなペタンクを世界的スポーツにする
(川崎町で盛ん。障がい者競技としてはボッチャといい、パラリンピックの正式種目でもある)

※ 7/19(金)まで、電子メールにより事務局に提出してください。
メールアドレス:g_jimukyoku@shibatamachigikai.jp

要 点 記 録 用 紙
(グループ内で出された意見をわかりやすく)

10 グループ 議員名: 佐々木 裕子

◎10年後も住み続けたいまち

■ROUND1

あなたが「10年後も住み続けたいまち」ってどんなまち？

- 1 治安が良く平和まち
- 2 子どもが多く、みんなの笑顔があふれるまち
- 3 緑が多く、公園が沢山あって遊ぶ所が多いまち
- 4 色々な店とコンビニなどが多いまち
- 5 道が整備され、ゴミが落ちていない綺麗なまち
- 6 電車の本数が多いまち

■ROUND2

それを実現するためには何をしたらいい？

○1・2 については、挨拶をすることで子どもからお年寄りまで笑顔になって、気持ちを通わせることにつながる

その他(挨拶しなかったら罰金をはらわせる)
(戸締まりをする)

○4 の色々な店などは、クラウドファンディングで作る
(クラウドファンディングで店 100 個つくる)

○5 のゴミが落ちていない綺麗なまちでは、ボランティアで
ゴミ拾い

その他(ゴミ箱を増やす)

○10 年後は、27 歳になっているので、議員になって
少子高齢化対策や社会福祉を整える法律をつくる

その他(税金をちゃんと払う、少子高齢化のため、
老人も働いてもらう法律をつくる。年金廃止)
(2 の子どもが多くについては、特色のある
特化した学校を増やし、まちに子供を呼び込む)

※ 7/19(金)まで、電子メールにより事務局に提出してください。
メールアドレス:g_jimukyoku@shibatamachigikai.jp

